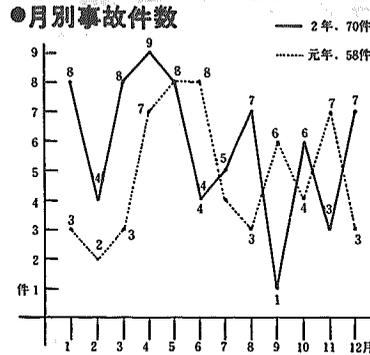
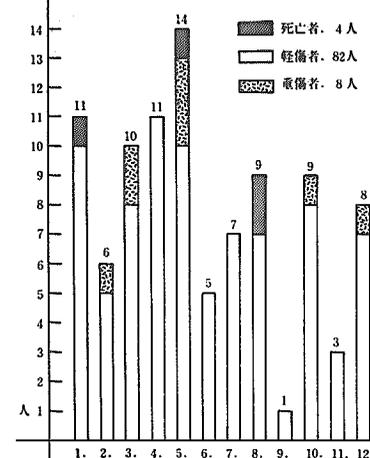


村内で発生した交通事故状況



月別傷者及び死亡者



村内で起きた事故で4人(1月1人、5月1人、8月2人)が亡くなり、重軽傷者は90人となった。これを昨年と比較すると死者数で3人増え、重軽傷者で14人増えた。

地区・幹線別事故発生状況

地区別発生場所	幹線別発生場所
横越 40件(57.2%)	・村道 28件(40.0%)
二本木 13件(18.6%)	・県道 26件(37.1%)
木津 7件(10.0%)	酒屋~沢海線 11件
沢海 5件(7.1%)	新潟~横越線 6件
小杉 4件(5.7%)	新津~五泉~安田線 5件
藤山 1件(1.4%)	新潟~新津線 4件
	・国道49号線 16件(22.9%)

市町村別居住者の起こした事故件数の事故率の順位

順位	平成2年		平成元年	
	市町村名	事故率(%)	市町村名	事故率(%)
1(7)	下田村	12.90	安田町	13.65
2(26)	黒塔町	12.55	三条市	12.91
3(63)	味方村	12.24	新潟市	12.89
4(14)	栄町	12.10	京ヶ瀬村	12.50
5(3)	新潟市	11.96	三川村	12.48
6(2)	三条市	11.92	豊浦町	11.92
7(12)	亀田町	11.58	下田村	11.80
			小瀬戸町	11.72
9(5)	三川村	11.08	中ノ口村	11.55
10(4)	京ヶ瀬村	11.00		
	県平均	9.16	県平均	9.51

主な事故の事故率の順位

ワースト順位	若者事故		高齢者事故		
	市町村名	事故率	市町村名	死傷率	
1(26)	西川町	28.66	1(24)	朝日村	9.48
2(3)	横越村	27.33	2(8)	横越村	7.74
3(82)	湯東村	25.95	3(25)	見潟市	7.38
4(1)	安田町	25.82	4(87)	附東上	7.36
5(2)	紫雲寺町	25.46	5(33)	田上	6.76
6(28)	和島村	25.45	6(4)	笹神村	6.58
7(30)	黒田村	25.20	7(58)	三聖町	6.39
8(8)	下柳村	24.35	8(18)	黒龍町	5.99
9(71)	高刈村	24.15	9(1)	黒白	5.75
10(92)	高刈村	24.06	10(5)	黒白	5.65
	県平均	17.46		県平均	3.92

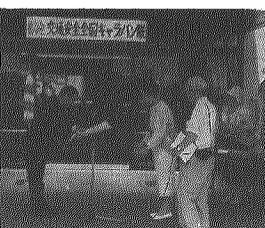
注1 若者・女性ドライバー事故率は、当該免許人口千人当たりの事故率をいう。  
 注2 高齢者事故死傷率は、当該市町村居住高齢者(60歳以上)の県内での交通事故による死傷者数を、高齢者人口千人当たりで算出したものをいう。  
 横越村の60才以上の人口 1,939人(1月末)  
 注3 順位欄の( )内は、前年度の順位を示す。

平成二年の交通事故状況は表のとおりですが、前年度より十二件増加し、死亡者は三人、重軽傷者も十四人それぞれ増加しました。とりわけ、県内の事故率(当該住民が第一当事者となつて起こした事故の免許人口千人当たりの事故率をいう)で見ると若者と高齢者(六十歳以上)の事故率では、どちらも第二位というワースト記録になりました。

そこで、平成三年度において



キャラバン隊に千羽鶴を渡す園児



総務庁長官のメッセージを受ける浅見村長

生命のスペアはない

て、特に高齢者の事故防止のため県より指定市町村に認定されました。

このようなことから、九月十一日に新潟県と共催で、高齢者交通安全フェアを二本木の横越勤労者体育センターで開催しながら、一人ひとりが交通ルールを守るうと意志確認を行いました。

また、新潟南署交通課の小林係長より次のことに気をつけようとの講話がありました。今年にはいつて現在(九月十一日)までは、高齢者の死亡事故はないものの、高齢者の側の行動として、

①自転車に乗って一時停止や信号遵守、後方の安全確認などを十分にやらない

②斜め横断をしているときにバイクに乗っているときに

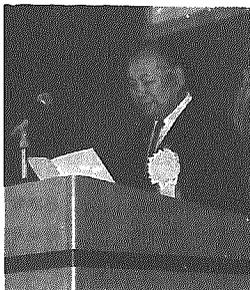
誰かがとめてくれるものはありません。一人ひとりが交通ルールを守り、事故のない、起こさない、明るい村づくりを築きましょう。

事故が起きている。今一度

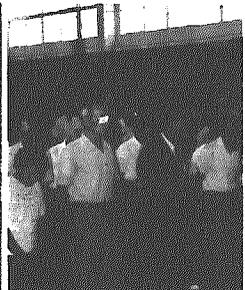
止まる↓みる↓確認する

といった基本動作になるが、交通ルールを守ると交通事故から守ってくれるという話があり参加者は、注意深く耳を傾けていました。

年々増加している交通事故



無事故を誓う塚原老連会長



犠牲者に黙禱する参加者



県警音楽隊による演奏

社会教育ガイド

10月の中央公民館事業

- ＜会場は中央公民館＞
- 絵画教室
 

期日 10月14日(月)・28日(月)

時間 午前10時

講師 上野キミ氏
  - 家庭教育学級
 

期日 10月17日(木)

時間 午前9時30分

内容 自然観察「紅葉の上川村を訪ねて」

講師 本間一人氏
  - 婦人大学
 

期日 10月2日(水)

時間 午後1時30分

内容 きもの着付教室

講師 佐藤チヨ氏
  - 高令者大学
 

期日 10月30日(水)

内容 午前「映画鑑賞」

午後 クラブ活動
  - 秋の文化祭(菊花展等)
 

※村民のみなさんの多種多様な作品を個人・グループから募集しています。

期日 11月3日~4日

■駅伝大会
 

期日 10月20日(日)

時間 横越小学校前

午前10時30分出発

九月十五日村内五会場で敬老会が開催されました。今年の対象者は、男性二六八名、女性四二八名の合計六九六名でした。

ところで、村内の長寿者は次のとおりですが、今回最長寿者の小杉中、遠藤東吉(97)さんを訪問して長寿の秘訣などいろいろ聞いてみました。

遠藤さんいわく

①規則正しい食事

②よくよくよく

③気力

など三点をあげましたが、特に夕食時には、酒一合は欠かせないなどの話もしてくれました。

また、若い時、よく目上の人から言われたが、「人につくしておけば、長生きもできる



村の最長寿者は遠藤東吉さん

し、いいこともある」「人の信用をえれば、長生きもし、しんしょもある」なども付け加えてくれました。

今は、耳が少し遠いので、足が少し弱ったくらいで、特別どこが悪いというところもなく至って健康でした。

しやべりも記憶もしっかりしていてとても97歳とは思えないほどでした。

米寿の十名に

郵政省では、さる九月十五日の敬老の日に、全国で白寿、米寿を迎えられた方に、郵政大臣のお祝状と記念品を贈呈いたしました。

これは、長寿をお祝いするとともに、長年にわたる簡易保険事業へのご協力に感謝することを目的として、米寿は昭和四十四年から、白寿は昭和五十七年から実施しています。本村では白寿の方はなかつたものの、つぎの十名の方が米寿のお祝いを受けました。

- ①小杉中 遠藤東吉(97)
- ②小杉上 今井藤吉(97)
- ③二本木中 阿部作(94)
- ④木津中 酒井市郎(93)
- ⑤沢海上 別野キヨノリ(93)
- ⑥沢海下 野所久一郎(92)
- ⑦二本木中原 片野久太郎(92)
- ⑧沢海上 諸井イソツト(92)
- ⑨焼山 橋口イサヨ(92)
- ⑩小杉下 渡辺キヨ(92)

短歌募集

横越中学校吹奏楽部(顧問小柳雅子教諭)は、地区大会で初めて金賞を受賞し八月十二日の県大会の出場権を確得しました。

ところで、県大会に向けて一年生十一名、二年生六名、三年生十二名の総勢二十九名が一日も休まず、顧問の先生を中心として練習した成果がみどり、過去に一回も経験の

自由

10月31日(木)

はがきまたは封書で5首以内、紙上署名の際も原稿末尾には本名、年齢、住所を明記

横越村中央公民館「文芸作品係」

文芸欄

短歌

草原に草食む牛の長閑さよ阿蘇路の旅を  
 しばし楽しむ  
 ひたすらに土に生ききて節高く変りゆく  
 農指は語りぬ  
 ハイネ読む吾を笑いし夫と居てカバハはずせば  
 貴方の名前  
 後追する猫を戸口に押入れて孫は学校に  
 馳せて行くなり  
 育ちゆく菊の青葉に朝のつゆ朝日をうけて  
 光かがやく  
 砂防堤を躍りて落ちる山の雨の滝ながる  
 枝葉をたたく  
 舗装道割って芽を出し根を伸ばすチガヤの繁る  
 生命に出逢う  
 お詫言八分の作で風ありと米価今年も又  
 引下げとなる  
 異常発生といわるるトンボ電線の並びぐずりて  
 われにとびくる  
 南天の枝に吊したてる坊主蜻蛉止りて  
 揺れ動きおる

(横越)

伊藤 吉作  
 佐藤 雅彦  
 佐久間 ユロ  
 清水 トシ  
 鈴木 美  
 清 雅  
 田村 忠彦  
 田村 文彦  
 坪田 十九一  
 中川 マツノ  
 長谷部 栄

横越吹奏楽大会コンクールで銀賞受賞

